

経済4団体共催

シェイク・ナーセル クウェート国首相殿下歓迎昼食会
日本側を代表し、桜井正光代表幹事が歓迎あいさつ

Keizaidoyu Express

ク ウェート国首相、シェイク・ナーセル・アル・ムハンマド・アル・アハマド・アル・サバーハ殿下が、去る7月27日から30日までの4日間、わが国を公式訪問した。ナーセル首相来日に際し、経済同友会・日本経済団体連合会・日本商工会議所・日本貿易会の経済4団体は、7月29日、帝国ホテルにて歓迎昼食会を開催した。

桜井正光代表幹事が日本側を代表して歓迎あいさつを行い、次のように述べた。

「貴国と日本は、より広範な分野における協力関係を推進し、豊かな社会を次世代に残すべく手を携えて前進することが必要である。次代に向けた投資を支えるのは、エネルギーの安定的供給、自由貿易体制の拡大、自由な投資環境の実現といった経済環境の整備であり、その点において、貴国が責任ある産油国

として果たされている役割は大きく、引き続き、石油市場の安定に向けてご尽力をお願いしたい」。

これに対してナーセル首相は答礼のあいさつで、「われわれは、国際社会や資源を必要とする貧困国の需要に対し責任を感じており、原油価格の上昇を狙っているわけではない。クウェートでは、2010年までに日産300万バレルへ増産し、その後も段階的に生産能力を増強すべく必要な手段を講じている。また、国際社会の需要に応えるための先端石油技術の開発や新しい油田採掘のプロジェクトに対し、日本や他の友好国からの投資を増やしていただきたい」などと述べた。



(左から) 吉野浩行・日本商工会議所特別顧問、御手洗富士夫・日本経団連会長、シェイク・ナーセル クウェート国首相、桜井正光・経済同友会代表幹事、加瀬豊・日本貿易会副会長



国立国会図書館からのお知らせ
納本制度にご協力ください

太平洋戦争終結からすでに60年あまりの歳月が経ち、多くの企業におかれて創立の節目の年をお迎えのことと存じます。社史・団体史、創業者の伝記、その他の報告書、研究書、雑誌、新聞などを刊行されました時には、ぜひ国立国会図書館に納本いただくよう、お願いいたします。

戦後日本の発展を支えてきた多くの企業・団体の出版物は、経営史・経済史の側面にとどまらず、社会史・文化史の観点からも貴重な研究資料です。当館では、国内出版物を網羅的に収集の上、国民共有の文化

的資産として末永く保存してまいります。所蔵目録は、インターネットで世界中どこからでも検索ができ、資料はどなたでもご利用いただけます。

納本制度についての詳細は、国立国会図書館ホームページ (<http://www.ndl.go.jp/>) でご確認ください。

- 本件に関するお問い合わせ先
〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1
国立国会図書館 収集書誌部 納本担当
☎03-3506-5205 (直通)
月～金 (祝休日・年末年始を除く) 9時～18時